



## 第19回常任理事会

**日時** 令和元年12月10日(火) 18:00～19:14  
**場所** 北海道医師会館 9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、深澤・藤原・佐古各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井・青木・荒木各常任理事、藤瀬・篠島・外園各監事(事務局：安達局長ほか10名)

### 協議事項

**第1号 北海道病院事業推進委員会の特別委員の推薦に関する件(目黒常任理事)**

佐古副会長を推薦することと決定。

**第2号 「北海道医師会災害時医療救護活動マニュアル」作成委員会の設置に関する件**

(目黒常任理事)

当会の「災害時医療救護活動実施要領(S63.7.23)」策定から30年が経過していることから、災害時医療救護活動指針をもとに、新たに「災害時医療救護活動マニュアル」を策定するため、医師会・行政・会長指名・その他の区分から構成する委員会を設置することと決定。任期は本年12月～令和3年3月末までとする。

**第3号 令和2年新年交礼会[1月6日(月)]の開催に関する件(目黒常任理事)**

来年1月6日(月)午後6時30分から札幌グランドホテルで開催することと決定。

**第4号 第6回理事会[12月14日(土)]の議案に関する件(目黒常任理事)**

12月14日(土)午後4時から札幌パークホテルで開催する理事会の提出議案を決定。

**第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(櫻井常任理事)**

申請のあった日医生涯教育講座19件を承認することと決定。

**第6号 その他**

(1) 令和2年1月行事予定に関する件(事務局)

(2) 令和2年度予算関係三役・担当部長会議の日程に関する件(事務局)

### 報告事項

**1. 医療関係者等スキルアップセミナー[令和元年度]について(三戸常任理事)**

北海道健康づくり財団の委託を受け「糖尿病・サルコペニア対策」をテーマに苫小牧市、「食物アレルギー対策」をテーマに小樽市でセミナーを開催し、参加者は2会場で168名であった。

**2. 第14回医療の質・安全学会学術集会[11月29日(金)～30(土)・京都市]について**

(岡部常任理事)

大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部・中島教授が大会長となり、国立京都国際会館において「レジリエンスの探求～つながり、共創、イノベーション～」をメインテーマに開催された。大会長講演、特別講演、海外・国内招請講演、教育セミナー、シンポジウム等が行われた。参加者は3,612名であった。次回は来年11月22日(日)～23日(月・祝)に、日本医療安全調査機構・木村常務理事を大会長として、千葉県・幕張メッセにおいて開催予定。

**3. 救急医療対策部会小委員会[12月1日(日)]について(青木常任理事)**

部会長に余市協会病院・住田部会員、副部会長に北見医師会・荒川部会員、手稲溪仁会病院救命救急センター・奈良部会員が会長より指名されたことを報告し、当会が実施したCBRNEテロ災害研修会や小児救急医療地域研修会の開催結果と合わせて、実施予定の道内急病センター連絡会や救急医療研修会等の事業について小職から説明した。その後、当会の災害時医療救護活動マニュアルおよび救急医療対策部会全体会議の内容について協議した。

**4. 勤務医部会全体会議[12月1日(日)]について(水谷常任理事)**

部会長に釧路市医師会・長谷川部会員、副部会長に札幌市医師会・西川部会員、執行部より勤務医の立場の目黒常任理事が会長から指名され、日医の勤務医関連会議ならびに勤務医懇談会について報告の後、北海道医療勤務環境改善支援センターの赤井センター長、五十嵐事務局長、星野医療労務管理アドバイザーから、「北海道内の病院における医師の労務管理に関する取組状況～病院に勤務する医師の労務管理に関するアンケート調査(厚生労働省)の結果から～」と題して話題提供の後、活発な意見交換が行われた。

**5. 第27回日本慢性期医療学会[12月3日(火)～4日(水)・大阪市]について(北野常任理事)**

平成医療福祉グループ・井川診療本部長が学会長となり「“令和”時代の慢性期医療～スキルとエビデンスの融合を目指して～」をテーマに開催された。記念講演として、筑波大学サイバニクス研究センター教授・研究統括／CYBERDYNE株式会社代表取締役社長・CEOの山海氏より「サイバニクスが拓

く医療・介護最前線、そして未来への取り組み」、シンポジウム1として、兵庫県立大学大学院・小山名誉教授・特任教授を座長に、「“令和”時代の慢性期医療はこうなる！」が行われた。その他、慢性期医療等に関するシンポジウム・一般演題、約600題が行われ、参加者は約2,300名であった。次回は、来年12月2日（水）～3日（木）に、埼玉県さいたま市で開催予定。

#### 6. 審査委員懇談会 [12月6日（金）] について

（伊藤常任理事）

審査業務に従事されている社保・国保・労災各審査委員の労をねぎらうため開催した。出席者は69名であった。

#### 7. 日医女性医師支援担当者連絡会 [12月8日（日）] について（水谷常任理事）

女性医師支援事業の今後さらなる発展のため、都道府県医師会や大学、各学会の特徴的・先進的な取り組み事例の紹介を行い、全国的に情報共有を図ることを目的に開催された。日本医師会・横倉会長（今村副会長代読）ならびに日本医学会連合・門田会長の挨拶後、議事に入り、日本医師会女性医師支援センターの取り組みを含めた3件の報告後、各学会、大学医師会の取り組みについて発表が行われた。医師会からは神奈川県地域医療介護総合確保基金を活用した病児・病後児保育の現状、山口県の男女共同参画部会の活動状況ほかの取り組みについて説明があった。その後、質疑応答と総合討論が行われた。参加者は266名であった。

#### 8. 外部各委員会報告

##### (1) 北海道高等学校安全互助会審査委員会 [12月1日（日）] について（三戸常任理事）

今年度の事業概要、共済金の給付状況、災害発生状況の分析結果について説明後、今後の共済事業に向けて意見交換を行った。

#### 9. その他

##### (1) 会員数について（目黒常任理事）

令和元年12月1日現在の当会会員数は8,374名で、内訳はA会員2,421名、B1会員614名、B2会員4,736名、C1会員99名、C2会員127名、C3会員377名となった。なお、日医会員数は5,884名となっている。

阿久津・沖・文屋・山下・今野・稲葉・久島・千石各理事、藤瀬・篠島・外園各監事、本間議長、井門副議長

（日医オブザーバー）城裁定委員、後藤・藤根・鈴木・上埜各委員

（事務局：安達事務局長ほか13名）

#### 1. 開 会

#### 2. 会長挨拶

#### 3. 報告事項

##### (1) 日医理事会報告（長瀬会長）

10月の理事会では、第14回国民医療推進協議会総会の件、「国民医療を守るための国民運動」展開に係る活動経費補助の件、医師資格証の今後についての件等につき協議した。また事前の理事打合会において、日本医師会医師賠償責任保険における弁護士費用と取り扱いの問題点について、転倒・転落による頭部外傷時の全例CT撮影を推奨する提言について等の意見交換を行った。11月の理事会では、日本専門医機構第19回理事会の件等の報告があった。また事前の理事打合会において、専攻医シーリング愛媛県の現状について、外国人介護人材確保について、医師会立准看護師養成施設の将来展望について、医療用医薬品の「販売情報提供活動監視事業」について、抗生物質の安定供給について、長野県における台風19号被害と医師会の対応について等の意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

##### (2) 日医各委員会報告

##### 1) 学校保健委員会 [7月25日（木）・10月3日（木）] について（後藤委員）

文部科学省からの中央情勢報告のほか、会長諮問に対する検討を行った。その後、今年度初めて制定する学校医宣言および3月8日（日）に開催する日医学校保健講習会について、意見交換を行った。

##### 2) 医師会将来ビジョン委員会 [8月24日（土）・11月16日（土）17日（日）] について（上埜委員）

8月の委員会は、がんプレジジョン医療研究センター・中村所長から「働き方改革・医療の質維持に不可欠な医療用AI」と題したプレゼンテーションの後、答申の骨子（原案）に対するディスカッションを行った。11月の委員会は、2日間にわたる合宿として、1日目はオンライン診療について、Society5.0について等の議論の後、場所を移して懇親会を行った。2日目は、答申各論（案）についてディスカッションの後、今後の方向性について協議した後、場所を移して施設見学を行った。

##### 3) 健康食品安全対策委員会 [8月29日（木）・11月28日（木）] について（山下理事）

8月の委員会では、宇都宮委員より「2型

## 第6回理事会

|     |                                                                         |
|-----|-------------------------------------------------------------------------|
| 日 時 | 令和元年12月14日（土）16:00～17:59                                                |
| 場 所 | 札幌パークホテル 地下2階「パークプラザ」                                                   |
| 出席者 | 長瀬会長、深澤・藤原・佐古各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木各常任理事、松家・立石・恩村・ |

糖尿病とサプリメント」、久代委員より「保健機能食品と血圧管理」について講演があった後、国民への啓発活動案等について検討を行った。11月の委員会では、迫委員より「子どもと健康食品について」、中山委員より「ヘルスリテラシーと意思決定支援」について講演があった後、会長諮問・本委員会にて取り組む案件について検討を行った。

4) 外国人医療対策委員会 [9月12日(木)、11月21日(木)] について(伊藤常任理事)

訪日・在日外国人の増加に伴い医療事故防止に資する取り組みとして、日本医師会医師賠償責任保険への医療通訳付帯サービスが来年4月1日より開始される旨説明があった。その後、ワンストップ窓口の具体的な実施内容等の検討や会長諮問「地域医療における外国人医療提供体制のあり方について」の最終答申案について協議を行った。

5) 社会保険診療報酬検討委員会 [10月9日(水)、12月4日(水)] について

(橋本常任理事)

平成30年度診療報酬改定の評価を受け、次期改定に向け薬価等の引下げによる財源を技術料として診療報酬本体へ戻すことや、在宅医療を充実させるために算定要件の簡素化や緩和などを要望することとした。また、現在の診療報酬の問題点について、医療の質を担保しつつ利用が促進されるようなオンライン診療の構築などについて審議した。

6) 労災・自賠責委員会 [10月11日(金)、12月12日(木)] について(深澤副会長)

令和2年度労災診療費算定基準改定の要望事項について、高齢労働者の労災補償および労災治療計画加算について検討した。また、委員会報告書についても協議・検討を行った。

7) 地域医療対策委員会 [10月16日(水)] について(笹本常任理事)

「医師確保計画策定ガイドライン」ならびに「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン」に関する要望をまとめた中間答申が示され、委員長より日医・横倉会長へ提出した旨、報告があった。

8) 広報委員会 [10月17日(木)、12月12日(木)] について(山科常任理事)

10月の委員会では、「いい医療の日」のロゴマーク決定とホームページ新設について、また、日医君都道府県バージョンの作成やLINEスタンプの販売について報告があった。12月の委員会では、12月1日(日)に開催された日医シンポジウム「いま語り合う『人生100年時代』」、チラシ「かかりつけ医って、なあに」、日医君グッズの販売開始について

報告後、生命を見つめるフォト&エッセー等について協議を行った。

9) 医師会共同利用施設検討委員会 [10月25日(金)] について(伊藤常任理事)

会長諮問「医師会共同利用施設の意義とこれからの方向性」に対する最終答申(案)について協議を行った。

10) 生命を見つめるフォト&エッセー 第2次審査会 [10月27日(日)] について(山科常任理事)

エッセー部門では、応募総数合計1,117編の応募の中から第1次審査で103編、第2次審査会で38編が選出された。受賞作の発表および表彰式は、後日行われる予定。

11) 有床診療所委員会 [11月7日(木)] について(岡部常任理事)

会長諮問「中長期的に見た、地域における有床診療所のあり方について」に対する最終答申(案)について協議を行った。最終答申は、来年2月に報告予定。

12) 医療関係者検討委員会 [11月13日(水)] について(北野常任理事)

会長諮問「准看護師の活用促進と今後の対策」「医療・介護人材の国際化の流れについて」の答申骨子(案)と、その執筆担当についてとりまとめを行った。小職は、「外国人への対応」について執筆を担当することとなった。来年1月15日(水)の委員会にて最終的にとりまとめを行う予定。

13) 産業保健委員会 [11月14日(木)] について(生駒常任理事)

中間答申が出され、その中で挙げられた検討課題である産業医契約等支援モデル事業(案)、産業医倫理規範・事例集等について審議の後、産業保健総合支援センターにおけるモデル事業について報告があった。その後、公務員の兼業・副業、学校における働き方改革に関する取り組みについて協議を行った。

14) 医師の働き方検討委員会 [12月11日(水)] について(藤井常任理事)

厚生労働省の医師の働き方改革の推進に関する検討会における進捗状況について報告があり、大学病院の働き方について、研究がしっかりできる体制が必要との医師会の見解が議論された。また、医師の副業と兼業については、医療提供体制に大きく影響があると予想されるので、日医では医師の副業・兼業と地域医療に関する緊急調査を行うと報告があった。

15) 男女共同参画委員会 [12月13日(金)] について(藤根委員)

女性医師支援センター事業の状況について報告を受けた後、会長諮問「男女共同参画の



推進と医師の働き方改革」について、フリー  
トーキングを行い、2月上旬までにまとめる  
予定。

### (3) その他

#### 1) 日本の医療を守る道民協議会第15回総会[12月9日(月)]について(目黒常任理事)

10月8日(火)に日医において、第14回国民医療推進協議会総会が開催され、全国各地で「国民医療を守るための国民運動」を展開することとなった。北海道では12月9日(月)、北海道医師会館において標記総会を開催し、25団体より60名が参加した。荒木常任理事より「医療・介護の適切な財源確保に向けて」、長瀬会長より「北海道議会新庁舎並びに道庁本庁舎敷地内全面禁煙を求める活動について」、それぞれ、医療界における喫緊の課題について意見発表したのち、「日本の医療を守る道民協議会第15回総会」の名で、意見発表の内容を含んだ決議が採択され、衆参国會議員、道議會議員、関係団体等、約700カ所に対し決議を送付する。なお、この決議は、12月12日(木)に閉会した第4回定例道議会において意見書として採択された。

#### 2) 介護保険法に規定する介護予防サービス等の実施事業者の「みなし指定」について

(北野常任理事)

過去に介護保険法に規定する介護予防サービス等の実施事業者の「みなし指定」の取下げを行った医療機関について取下辞退書(様式)を各(総合)振興局・政令中核市(札幌市・函館市・旭川市)に提出するだけで、来年4月から「みなし指定」を受けられるよう取扱いが改正されることとなり、申請時の事務負担が軽減されることとなった。それに伴い、既に通常指定を受けている医療機関についても、次回更新時から自動的にみなし指定医療機関と同様の扱いになる。今後、北海道からの正式通知を待ち、各郡市医師会長宛に通知するとともに、道医報3月号にて会員へ周知する予定。

### 4. 承認事項

#### (1) 外部各委員会等委員の推薦について

(目黒常任理事)

第5回理事会(10月13日開催)以降推薦のあった、北海道環境生活部・くらし安全局道民生活課所管の北海道男女平等参画審議会の特別委員に藤井常任理事を、北海道道立病院局・病院経営課所管の北海道病院事業推進委員会の特別委員に佐古副会長を推薦することを承認決定。

#### (2) 「北海道医師会災害時医療救護活動マニュアル」作成委員会の設置について(目黒常任理事)

当会の「災害時医療救護活動実施要領(53. 7. 23)」策定から30年が経過していること

から、災害時医療救護活動指針をもとに、新たに「災害時医療救護活動マニュアル」を策定するため、医師会・行政・会長指名・その他の区分から構成する委員会を設置することを承認決定。任期は本年12月～令和3年3月末までとする。

### 5. 協議事項

#### 第1号 令和2年新年交礼会[1月6日(月)]の開催に関する件(目黒常任理事)

来年1月6日(月)午後6時30分から札幌グランドホテルで開催することと決定。

#### 第2号 北海道医師会職員給与規程等の一部改正に関する件(目黒常任理事)

国の人事院勧告に基づき、北海道人事委員会が勧告した道職員の令和元年度給与表ならびに期末・勤勉手当の改定に準じて、当会職員についても同様に本年4月1日から適用すること、同時改定の住居手当の上げは来年4月1日から適用することと決定。

### 6. 道総医協関連事項(深澤副会長)

第5回理事会(10月13日開催)報告以降に開催された会議について報告した。

### 7. 閉 会

## 第20回常任理事会

日 時 令和元年12月24日(火) 18:00～19:15  
場 所 北海道医師会館9階・理事会室  
出席者 深澤・藤原・佐古各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井・青木・荒木各常任理事、藤瀬・篠島・外園各監事  
(事務局：柴田事務局次長ほか10名)

### 協議事項

#### 第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(目黒常任理事)

12月18日の審査委員会で指定可とされた新規1名の申請者を指定医師とすることと決定。

#### 第2号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件(生駒常任理事)

認定要件を満たした新規17名と更新24名を承認し、日医へ申請することと決定。

#### 第3号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件(三戸常任理事)

認定要件を満たした新規3名、更新1名の申請を承認し、日医へ申請することと決定。

#### 第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座11件を承認することと決定。

### 第5号 その他

#### (1) 1月行事予定に関する件(事務局)

## 報告事項

### 1. 自由民主党北海道支部連合会「団体政策懇談会」 [11月26日（火）] および公明党北海道本部「政策 懇談会」[12月14日（土）] について（荒木常任理事）

自由民主党北海道支部連合会の懇談会では長瀬会長他7名の役員が出席し、国民皆保険の堅持、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築の推進、救急医療体制の充実・確保、道議会新庁舎の完全禁煙等の各医療政策について、自由民主党北海道支部連合会に対して要望し、意見交換を行った。また、公明党北海道本部との懇談会では長瀬会長他9名の役員が出席し、同じく要望・意見交換を行った。

### 2. 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会[12月5日（木）・東京都] について（岡部常任理事）

日本医師会医師賠償責任保険制度の運営に関する経過報告の後、会員への指導・改善の取り組みについて、沖縄県医師会ならびに大阪府医師会から報告が行われた。付託事案の傾向と審査のポイントについて解説があった後、都道府県医師会からの質問・要望に回答したほか、民法改正と日本医師会医師賠償責任特約保険の補償限度額の増額について説明があった。参加者は、テレビ会議を含め114名であった。

### 3. 北海道地域医療構想調整会議協議会（通算2回） [12月15日（日）] について（荒木常任理事）

都道府県単位の地域医療構想調整会議として、北海道との共催で通算2回目を開催した。全道から各地域医療構想調整会議議長や、多数の関係郡市医師会役員、保健所長等に参集いただき、各圏域の重点課題等について報告を行い、情報を共有した。参加者は約90名であった。

### 4. 北海道医師会JMAT研修会【基礎編】[12月22日（日）] について（青木常任理事）

災害時に医療救護活動の可能性がある医療者に対し基本的な知識の付与を行い、道内の災害医療従事者のスキルアップを図ることを目的に開催し、51名が受講した。はじめに、災害医療の基礎知識や本道の災害被害想定と医療提供体制等について講義を行った。その後、病院の災害対応と受援について、災害発生からすぐに対応する場合を想定した机上演習（グループディスカッション）のほか、EMIS（広域災害救急医療情報システム）の実習を行った。最後に当会・目黒常任理事からJMATの概要・活動と今後の展望について説明した。なお、来年3月1日（日）に、被災地での診療や関係機関との連携などについて実践的な研修を行う「JMAT研修会【実践編】」を開催する予定である。

### 5. 第1回日本地域包括ケア学会[12月22日（日）・東京都] について（北野常任理事）

埼玉県立大学・田中理事長が学会長、日本医療法人協会・鈴木副会長が事務局長となり「全世代・全対象型地域包括ケアの実現を目指して」をテーマに開催された。田中理事長による「2040年の多元的社

会に向けた地域包括ケアシステムの深化」と題した講演のほか、「社会的処方のある方を考える」「多職種連携コンピテンシーを活用した地域包括ケアシステムを支える保健医療福祉職種を対象とした教育活動」「在宅医療連携拠点の進化と在宅医療介護連携推進事業の今後」をテーマに3つのシンポジウムが行われた。参加者は約580名であった。

## 6. 外部各委員会報告

### (1) 第1回道民の健康づくり推進協議会地域・職 域連携推進専門部会[12月13日（金）] について（岡部常任理事）

地域・職域連携推進ガイドラインの改訂ポイント、第二次保健医療福祉圏域（21圏域）地域・職域連携推進連絡会等開催状況について説明があった後、各機関の重症化予防の取り組み状況について情報提供があった。

### (2) 第3回石狩教育局子供の自殺が起きたときの 背景調査に係る意見聴取会[12月18日（水）] について（三戸常任理事）

生徒の自殺または自殺が疑われる死亡事案について説明があり、外部専門家の小職、大学講師、社会福祉士、弁護士、臨床心理士からの意見聴取が行われた。

### (3) 北海道医療勤務環境改善支援センター運営協 議会[12月18日（水）] について（水谷常任理事）

情報収集業務の一環として、道内地域センター病院25施設を対象に実施した、北海道の医療機関における働き方改革基礎調査（留置調査）の結果報告等、今年度を実施した事業報告が行われた。その後、来年度に向けての活動方針として、医師の「勤務時間」、「医師の業務と時間」の把握をあげ、その把握方法について医療機関と一緒に検討する旨の説明があった。

### (4) 第2回北海道新生児聴覚検査体制検討協議会 [12月20日（金）] について（三戸常任理事）

検査で聴覚障害が発見された子の療育の現状について各委員から説明があった後、要支援児を療育に繋げていく体制整備について意見交換が行われた。

### (5) 第1回道民の健康づくり推進協議会[12月23日（月）] について（三戸常任理事）

北海道受動喫煙の防止に関する条例（仮称）素案について検討し、保育所や小中高校などの敷地内禁煙を努力義務の考えから義務とすることとした。また、条例に位置付ける基本計画については、条例制定に合わせ受動喫煙防止対策を見直すことで協議することとなった。今後は、来年2月に開会予定の第1回道議会でも条例を成立、4月に施行する予定である。